

GREEN CIRCLE NEWS

平成 29 年 10 月



| 目 次 | |
|----------------|---|
| 花ごよみ | 1 |
| 森樹楽話 (82) | 2 |
| 事務局だより | 3 |
| きのこの世界へ招待 (22) | 4 |



「山の日記念」―足尾にて太田猛彦東大名誉教授の講演

〈花ごよみ〉

第2回山の日記念行事

―栃木県日光市旧足尾鉾山―

GC事務局

昨年から施行された「山の日」の制定を記念して、「山の日」記念行事実行委員会（一財）日本森林林業振興会、（一社）全国森林レクリエーション協会、（二社）日本森林インストラクター協会主催の記念行事に、昨年度に引き続きグリーン・サークルの活動の一環として会員20名が参加しました。

今年、栃木県日光市の旧足尾鉾山周辺の松木沢などにおいて、失われた森林が治山事業やNPOの方々による長年の努力により復元してきている現場を関係者の方々からの説明を受けながら視察した後、足尾環境学習センターで東京大学名誉教授太田猛彦先生から「日本の森林のこれから―「山の日」に森林の将来を考える―」と題した講演会を聴講する内容で開催されました。

当日は、木下仁林野庁山村振興・緑化推進室長ほか関東森林管理局、日光森林管理署、栃木県庁からも多数のご来賓のもとで、足尾ダムを望む銅（あかがね）親水公園広場にて開会式が執り行われ、浪岡日光森林管理署長の足尾地区における治山事業の取り組みについてお話を聞いた後、旧松木村跡へ移動し、NPO法人「足尾の緑を育てる会」会長鈴木聡氏から足尾の市民ボランティアによる植栽の歩みについてお話を聞きました。

「足尾の緑を育てる会」は、昭和55年に故立松和平氏が立ち上げたNPO法人で「足尾の山に10



「0万本の木を植えよう」を合言葉に緑化活動が進められ、途中、シカによる食害に悩まされつつも、旧松木村集落跡地周辺では木々が生い茂るようになり荒涼とした風



蘇った足尾の製錬所跡



概況説明をする浪岡日光森林管理署長

景はかなり軽減し、今では毎年1,500人余のボランティアが参加して緑化活動が積極的に行われているとのことでした。
その後、久蔵沢の林野庁緑化事業地に場所を移し、浪岡日光森林管理署長の説明により、国有林直轄治山の歩みや植生盤（土と肥料と草の種子を混ぜ固めてマット状にした物）の開発や航空機実播等の歴史的・技術的な説明が行われました。足尾における治山事業の取り組みは、平成25年度に林野庁が「後世に伝えるべき治山」に選定するとともに、平成28年度に日本森林学会によって「林業遺産」にも登録されたということです。
午後は場所を足尾環境学習セン



松木村集落跡で鈴木会長にお話を聞く

森樹楽話 元GC講師 山田 彬

82 林試の森の樹木たち（9）

ハナノキとアメリカハナノキ

カエデ科のなかでも、濃紅色の花がとても美しく、葉の出る前に小枝一面に小花が広がることから、とくに「ハナノキ」の名をもらっているカエデです。

ただ分布域は、木曾川流域の山間の湿地から中部地方の一部に限られている、「限定分布」のかなり珍しいカエデです。

林試の森にも、プラタナス広場の西側にありましたが、残念ながら枯れてしまいました。再植するように申し入れていたところ、この度、若木を手配して、再植されたのは、公園管理の方の配慮と努力によるものです。

アメリカハナノキ（ベニカエデ）は、東門の入口近くとすぐ奥には大木があり、ハナノキと東西に離れて植えられているのは、同亜種で、アメリカ大陸とアジアに隔離分布している状態を暗示しているかのようです。

葉には不規則な鋸歯があり、浅く3裂して、基部は心臓形、表面は濃緑色だが、裏面が淡く白い特徴がある。雌雄異株。雄花は多数集まって若葉に先立って咲き、萼片、花弁ともにほぼ同形で、沢山の花に見え、濃紅色でとても美しい。

また、紅葉も紅色で美しいので、カエデの中でも、珍しい貴重種で、庭園、公園などに植えられて人気がある。

限定分布地である象徴として、名古屋の東山動物園の外周路には、この木が並木として植えられていて、花時や紅葉時には美しく、よく知られている。

ハナノキとアメリカハナノキの2種は「第三紀周北極植物」と言われる植物群の一つとされている。

地球の歴史上、第三紀の中でも温暖であった6500万年前から2300万年前の頃、暖かかった北極周辺で生まれた植物が、その後の寒冷期に、アメリカ大陸とユーラシア大陸に分かれて南下して、環境の変化に適応して進化・分化していったものです。

日本列島の中で、何故、ハナノキが主として木曾川流域の山間の湿地などに「限定分布」となっているのかは日本列島の誕生の地史と関係があることでしょう。



花も紅葉も美しいハナノキ

ターに移し、東京大学名誉教授の太田毅彦先生の「日本の森林のこれから」「山の日」に森林の将来を考える」と題しての講演をお聞きしました。太田先生からは、「山の日」は、山の環境や山の文化山麓の暮らしを保全し、その将来を考える日であり、「森」の恵みを考える日である。かつては全国に広がっていた荒廃した森林は、国を挙げた森林を取り戻すための取り組みにより、かつて無いほど豊かに成長した。一方、社会情勢の変化とともに、この豊かに成長した森林は「飽和」の時代に突入した。この飽和した森林を「森林の原理」である利用原理、環境原理、文化原理のもとで、その多面的な機能を適切に発揮させて積極的に利用し、持続可能な低炭素社会・循環型社会を構築していくことが重要である等、過去の写真や絵図等も見せて頂きながらの講演内容でした。

参加者からは、日本の森林の現状を改めて知ることができた、「山の日」に山や森林の本質を知る良い機会となったとの声が多く寄せられ、盛会のうちに記念事業が終了しました。

(8月4日「山の日」記念
失われた緑。よみがえる足尾は、今！)

申込み受付中!

10月25日(水)

「西山荘・徳川墓所と
徳川の森観察会」

の席がまだ空いております。
ご希望の方は、(株)関東観光社まで
往復はがきでお申込みください。

10月4日必着で!!

〈事務局だより〉

観察会の服装について

暑い夏もようやく一息。いよいよ秋のシーズンに入ります。暑い時期は外出を控えていたけれど、気持ちの良い風と高い空に誘われて歩き始めようかと思っている方も多いはず。そこでGC会員には言わずもがなですが、観察会での服装についてお話しします。

もちろん教室によっては普段のスニーカーでOKの場所もありま



すが、最近は街中でトレッキングシューズを履くことに違和感はありませんし、中高年のカジュアルな服装もあたりまえ。服装も靴も慣れておくことが大切です。
《帽子》―帽子は嫌だなと思う人が多いようですが、必要です!日焼けや日射病予防、さらに上からの落下物によるけが予防のためにツバのある物を。風の強い日など頭上から枯れ枝が落ちてくることがあります。直接頭に落下したら...。
《長袖》―暑い寒いの問題ではなく、必ず長袖を着て肌の露出を少なくしましょう。最近騒がしいのはマダニとヒアリ。他にも注意しなければならぬ虫や樹木が森林には存在します。そうそう出会うものではないけれど、蚊にも刺されたくない!と言う人はもちろん、まずは直接接触しないことが第一。吸汗・速乾性の素材を選び、脱いだり着たりこまめに調節する事が大切。暑い寒い個人で感じ方が

違います。手袋も用意。手袋でケガを防いだり寒さがしのげることもあるし、日焼けによる手の甲のにつきシミも予防できます。
《長ズボン》―伸縮性があり動きやすく裾じまりの良いものを。楽に膝が曲がるかな?どこまで足が広がるかな?確認してみましよう。
《靴》―これはもう防水性のある滑りにくい履きなれた靴を。雨じゃないのに草地を歩いたら露で靴がシットリ、なんてこと結構あります。ハイカットシューズが捻挫予防に効果的とは言っても、慣れていないと思わぬところに靴擦れが出来たりもします。新しく買う時は試して試して「防水・透湿性は?」など聞きながら更に試しましょう。履きやすい靴を見つけて購入したら、まず履き慣らしておきましょう。

中高年になったら、「道具」はかなり大事です。自分を助けてくれる物を見つけて、使いこなしてください。ただし、なるべく軽くコンパクトになるものの方が楽に歩けます。便利そうなものを使っていて人を見つけたら、それなに?と聞いてみるのもお勧めです。きつと詳しく教えてくれるはず。事故なく、ケガなく、楽しい時間を過ごしましょう。

きのこの世界

へ招待



GC会員のアドバイザー

小川 武廣

22

きのこの王様・女王・死の天使、フェアリーリング

ヤマドリタケ

西欧で人気の高い食用きのこは、ヤマドリタケである。イタリア名はボルチーニ、フランス名・セップ、ドイツ名・スタインピルツと呼ばれ、きのこの中でも最高に美味で、姿・形がきのこらしく、「きのこの王様」の名に恥じない。我が国には産せず近縁のヤマドリタケモドキ、ムラサキヤマドリタケしかない。



〔キノコの世界〕

ベニテングタケ

真紅の傘に白いイボイボをつけたベニテングタケは立ち姿も堂々としており捨てが

キヌガサタケ

黒味がかつた褐色の帽子を頭に、真っ白、ときには薄黄色の精緻なレース織のマントをふんわりとつけたキヌガサタケはエレガ



〔キノコの世界〕

ントな貴婦人といったところであるが、佳人薄命で半日ほどで萎れてしまう。食用されている。

ドクツルタケ

純白のきのこの代表は、猛毒のドクツルタケで、英名は「destroying angel（死の天使）」、姿は美しいが、たった一本で大人一人の致死量を超えるという。



〔キノコの世界〕

ヤコウタケ

色の美しさの極めつきは、夜光るきのこである。ブナやその他の落葉広葉樹の倒木に群生するツキヨタケは、その代表的なものの一つで、暗闇でヒダが青白く光る。シイタケ、ヒラタケと間違われやすく、中毒例の最も多いきのこである。



〔キノコの世界〕

八丈島、小笠原には、さらに発光性の強い傘とヒダが光るヤコウタケが見られる。小笠原では「グリーン・ペペ」と名付けられているが、ギリシャでは「ミケー



〔キノコの世界〕

モリノカレバタケ

最後にフェアリーリング（妖精の輪）をとりあげよう。



〔キノコの世界〕

多くのきのこ、例えばマツタケなどは松の木を中心にして円環状に生えることから、このように名づけられた。真夜中に妖精たちが輪になって踊った跡とか、この輪の中心に足を踏み入れるとこの世に戻れないなど、メルヘンの世界が広がる。

◎教室実施についてのお知らせ

ア 通常の教室の場合

*参加申込は、原則として、Eメール、FAX又はハガキにより、必要事項（会員番号、氏名、電話番号、携帯電話番号、緊急連絡先電話番号及び住所）を明記の上、お申し込みください。電話による受付は致しません。ただし、申込方法欄に「往復ハガキ」に限定してある場合は、それによります。
*参加費は、当日に会員番号、氏名、金額を明記した封筒に入れて持参してください。特に釣銭が発生しないようにしてください。
*各教室とも少雨決行とします。ただし、参加者が少ないとき、荒天のときは、予定を変更または中止することがあります。
*キャンセルする場合は、電話等で事務局（当日は携帯電話 080-1042-8054）へご連絡ください。

イ 貸切バス利用、宿泊を伴う場合

*それぞれの教室案内の申込方法欄に記載する方法により、必要事項を明記の上、当該教室を担当する旅行会社に直接申込みいただきます。
*詳細につきましては、それぞれの【教室案内】に記載します。

発行所。

一般財団法人 日本森林林業振興会
グリーン・サークル事務局

〒112-0004

東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル6階

TEL 03-3816-2471

FAX 03-3818-7886

当日の連絡は 080-1042-8054

郵便振替口座記号番号

00120-8-195785

加入者名 (一財)日本森林林業振興会

URL : <http://www.center-green.or.jp/gc/>

E-mail : gc@center-green.or.jp